

平成29年度 とくしまブランド推進機構 活動方針

1 基本方針

とくしまブランド推進機構は、「農家所得の向上」と「農業生産の拡大」を目的に、マーケットイン型の生産・流通・販売を総合的に支援する。

とくしまブランド推進機構は、徳島県・徳島県農業協同組合中央会・全国農業協同組合連合会徳島県本部・徳島県農業開発公社のコントロールタワーとして、それぞれの組織が持つ強みを持ち寄り「オール徳島」の体制で、本県産農林水産物の「生産振興対策」「流通改善対策」「販路拡大対策」及び、その他必要な対策を実施する。

エリア別の目標としては、関西市場に関しては「関西の台所としての地位とブランド力の維持」を、関東市場に関しては「県産農畜水産物の販路開拓と認知度向上」とする。

平成29年度は、前年度の実績を踏まえ関係機関との連携をより密にして、実需者ニーズを捉えたモデル事業を展開し、活動に参画する生産者を増やすとともに、成果の拡大と地域商社機能の基礎となるネットワークの構築を進める。

2 活動体制

(1) とくしまブランド推進機構 構成機関

- ☆ 徳島県 …… 農業者や団体の生産拡大等を支援
(もうかるブランド推進課・農林水産総合技術支援センター・東京本部・大阪本部)
- ☆ 徳島県農業協同組合中央会 …… JAの営農指導と担い手育成を支援
(営農・担い手サポートセンター・統合JA推進室)
- ☆ 全国農業協同組合連合会徳島県本部 …… 物流と販売、担い手を支援
(園芸部・営農対策部)
- ☆ 徳島県農業開発公社 …… とくしまブランド推進機構の運営
(農地中間管理機構) 農業者の農地集積を支援

(2) とくしまブランド推進機構 運営委員会運営委員

- 新居 徹也 (徳島県農林水産部次長兼もうかるブランド推進課課長)
- 石田 和宏 (徳島県農業協同組合中央会参事)
- 長江 郁哉 (全国農業協同組合連合会徳島県本部副本部長)
- 溝口 康 (徳島県農業開発公社統括マネジャー)

(3) とくしまブランド推進機構 業務従事者

- 溝口 康(統括マネジャー)、堀 寛明(チーフエリアマネジャー)
- 西條晋太郎(エリアマネジャー)、奥田 雄哉(エリアマネジャー)

3 重点取組事項

(1) 生産振興対策関係

実需者ニーズを基に、新たな商品づくりの提案・実証を行い「儲かるモデル」を育成し、生産者の事業参画の促進と、担い手への農地集積を支援する。また、生産力の低下が懸念される主力品目に対し課題解決に向けた取組を積極的にサポートする。

具体的には、新たな提案を積極的に行うとともに、「かぼちゃ」・「ザーサイ」などのマーケットイン型産地づくりに継続して取組む。主要品目「ほうれんそう」や「にんじん」・「すだち」などの産地強化対策に関係機関と連携して取組む。

(2) 流通改善対策関係

県産農産物の集荷・出荷体制や輸送手段などを研究し、輸送の効率化・合理化を関係機関と連携して推進する。また、多様な販売方法や輸送方法の活用を推進する。

具体的には、契約栽培や直接販売の推進するとともに、食材供給システム「SEND」の普及や徳島空港エア便を活用したエア・モーダルシフトを実証する。

(3) 販路拡大対策関係

機構のネットワーク機能を活用して実需者へ積極的に情報提供し、新たな販路開拓を進める。また、商品サンプルづくりや試験販売など売り込みを支援し、販路開拓と安定的な取引の拡大を図る。

具体的には、新規顧客の開拓のため全国規模の商談会や見本市への出展、新商品の流通調査などを実施して、県産品の認知度向上と有利な販売先確保に取組む。

(4) その他必要な対策

県内産地に最新の「実需者ニーズ」を、県外実需者には最新の「産地情報」をわかりやすく提供する。また、様々な「ツール」・「手法」を駆使して、県産品の魅力を周知する活動に取組むとともに、県ブランドギャラリー「ターンテーブル」の活用を検討する。

4 増加目標

項目	平成28年度見込み	平成29年度計画	平成30年度計画	3カ年合計
栽培面積	158ha	66ha	80ha	304ha
(累計)	(-)	(224ha)	(304ha)	
販売金額	671百万円	564百万円	818百万円	2,052百万円
(累計)	(-)	(1,235百万円)	(2,052百万円)	

5 行動計画

(1) 生産振興対策関係

項目	業務名	目標		
		単位	平成29年度	平成30年度
主要品目へのサポート活動	ほうれんそうの産地対策	-	販路の拡大 対象品目の拡大	販路の拡大 対象品目の拡大
	にんじん産地対策	-		
	すだち産地対策	-		
	その他	-		
マーケットイン型産地づくり	かぼちやの試験栽培	金額/面積	1,500千円/2.0ha	2,000千円/2.5ha
	ザーサイ生産	金額/面積	500千円/0.2ha	1,500千円/0.6ha
	その他	-	新品目導入	新品目導入

(2) 流通改善対策関係

項目	業務名	目標		
		単位	平成29年度	平成30年度
新たな食材供給体制づくり	SENDシステムの普及	金額/戸数	20,000千円/65戸	30,000千円/80戸
	農産物流通調査等の実施	-	輸送方法の改善	輸送方法の改善
	エア・モーダルシフトの実施	-	事業実証	品目拡大

(3) 販路拡大対策関係

項目	業務名	目標		
		単位	平成29年度	平成30年度
新たな販路拡大活動	県外での徳島フェア開催	金額/回数	5,000千円/5回	6,000千円/6回
	展示商談会等を通じたPR	金額/回数	100千円/5回	200千円/5回
	実需者等への商品提案活動	金額/件数	300千円/12件	500千円/15件
	テストマーケティング活動	回数	5回	7回

(4) ブランディング関係

項目	業務名	目標(累計)		
		単位	平成29年度	平成30年度
高級志向販路開拓	デパ地下での売り場確保	店舗数	8店(14店)	10店(24店)
	通販(カタログ・サイト)の活用	商品数	18件(20件)	14件(34件)
魅力周知活動	県内でのバイヤー見学会開催	回数	6回(10回)	6回(16回)
	料理教室の開催	回数	2回(3回)	4回(7回)

(5) その他

項目	業務名	目標(累計)		
		単位	平成29年度	平成30年度
情報提供活動	阿波ふうど情報の発行	発行回数	20回(35回)	25回(60回)
	メディアへの情報提供	掲載数	10件(23件)	10件(33件)
	県外実需者への情報収集提供	訪問社数	100社(204社)	100社(304社)
	県内実需者への情報収集提供	回数	170回(328回)	170回(498回)
	産地での研修会の開催	実施数	5回(11回)	7回(18回)